

報告事項Ⅱ

コロナ禍状況下の現状認識に関するレポート

令和2年度泉南市子どもの権利条例委員会

コロナ禍状況下の現状認識に関するレポート

泉南市・泉南市教育委員会

1. 「安心できる学校・学級づくり確認シート」の集計結果から…[資料1参照](#)

教育委員会では、学校園の分散登校園が行われた5月に「安心できる学校・学級づくり確認シート」を学校園に配付し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が子どもたちにどのような影響を与えているのか、とりわけ多くの不安を抱えている子どもの気持ちに寄り添い、その不安を再開後の学校園での学級づくりに生かすことにした。そして、市として子どもたちの意見を集約し、まとめた。

「自分や家族がかからないか」「学校行事や勉強について」の心配が多かったが、「長い間、友だちと会っていなかったので、話すのが緊張する。」「学校を休むと、コロナで休んでいると思われるのが嫌。」など、人間関係や偏見差別につながる意識について不安に思っている子どももいた。

2. 「子どもの権利条例『子ども市民モニター』アンケート」の結果から…[資料2参照](#)

人権推進課では、泉南市子どもの権利条例の運営状況を検証するために、毎年、市民モニター会議を実施しているが、今年度は「コロナ禍の非常事態に対する泉南市の取組について」アンケートを実施した。

アンケートでは「コロナ禍で感じたり考えたりしたことはありますか」「その気持ちを話す人・話す場所はありましたか」などの項目を設定した。子ども市民モニターの4中学校の生徒会役員26名からの回答では、「試合や行事、学校がなくなり残念な気持ちや悔しい気持ちになった」「いろんな事があたり前だったことに気づかされた」などの意見があった。また、「共感してもらえて気持ちが楽になった」という意見が多くあった。

3. 小・中学校の子ども及び保護者の状況

(1) 不登校について

コロナの不安から「学校を休みたい。」という申し出が3件あった。不安の内容については、子どもが不安なのか、保護者が不安なのか、計りかねるところもあるが、出席停止扱としている。

○小学校低学年児童

- ・1年入学時から発熱による欠席が多い児童で、6月学校再開後も、休むことが多かった。
- ・8月に、母から学校へ「コロナの中、登校させるのが不安。出席停止扱いにしてほしい。」という要望があった。

○小学校低学年児童と高学年児童のきょうだい

- ・9月の授業参観時に人権啓発講演会を企画していたところ、「この時期に、人がたくさん集まる会をしていいのか。子どもを通わせることに不安がある。」と保護者から連絡があった。それ以降、感染症対策のため子どもたちは自宅で過ごしている。運動会も修学旅行も参加していない。

○中学校生徒

- ・8月ごろ、「クラスや学校でマスクをつけていない生徒がいる。そんな環境の学校に行かせることが不安。」ということから学校を休むことがあった。

○小学校高学年児童

- ・休校期間中は母も仕事が休みで、親子で過ごす時間が多かったため、学校再開後、母と離れがたく、学校に行き渋るようになる。母は「3時間目からでもいいですか」と学校に連絡してくる。摂食障害もあるようで、給食に不安があった。
- ・遠足を目標に登校時間を少しずつ早めていくなどしたことで、徐々に朝から登校できるようになり、現在は1時間目から登校している。しかし給食にはまだ不安があるため、家に帰って昼食をとり、再び登校して6時間目まで授業を受けている。

(2) 虐待について

コロナの影響とは明確に言えないが、3月末に保護者が自ら子どもの保護を申し出たケースがあった。

○小学校高学年児童と中学校生徒のきょうだい

- ・3月から子どもと母が家庭で過ごす時間が長く、母のイライラが溜まり、4月に子どもをクッションで叩いてしまう。母が自分で「このままだと、イライラして殺してしまうかもしれない。」と警察に伝え、子どもを一時保護した。
- ・2週間後に保護解除となったが、現在は母子とも落ち着いて生活している。

(3) 青少年センターや市民交流センターの児童館に遊びに来た子どもの声

○よく遊びに来ていた子が、「やっと青少年センターで遊べる！ずっと家でおったから暇やった。ひさしぶりや！」と笑顔で部屋に入ってきた。

○室内で運動遊びをすることによる感染リスクを考え、ボール遊びを中止した。遊びに来た子が「ボール遊び、何でできんの？」と職員に聞いた。「コロナのことがあるから、部屋での運動はやめようって決めたねん。」と説明すると、「やっぱりコロナか〜。」と残念そうな表情になった。

○棚や机を叩いて遊んでいる子に声をかけると「今年は祭りが無いんやで。最悪やで。おもんない。」と話した。

- 以前から1人での来館が多かった子。遊びに来ると、事務所の女性スタッフを探して、遊んだり話をしたりする。スタッフが他の子に呼ばれて行こうとすると、「行かんといて。」と言って、1対1での関わりを求める。
- 遊びに来た子が「(家族の人数が多いので)私のところは、家族でご飯を食べに行くことも、出かけることもできんねん。」と話した。
- 数人で遊びに来た子どもたち。「おれたち遊びに行くところないんや。暇や。暇や。」と言って、どこにも遊びに行けない気持ちを話してくれた。

4. 保育園所・幼稚園・認定こども園の子ども及び保護者の状況

(1) 子どもの姿と保育の工夫

○感染対策

- ・保育者が「手洗い、うがいはしてね。」と言うと「コロナやからやろ？」と返してくる子どもが多い。
- ・手洗い、うがいの場面で「コロナにならんように手洗い・うがいちゃんとする～」と言っていた。
- ・例年より手洗い・うがいが上手である。J:comで配信した手洗い動画を見て保護者が協力してくれた。
- ・子ども同士が近づいて集まっていると「密です、密です！」とつぶやいている姿があり、子ども達も新しい生活様式を意識している。
- ・「〇〇さん、マスクつけてないで、コロナになるからつけなよ！」「手洗わんとコロナになるで。」と友達に言っている姿があった。
- ・食事中おしゃべりしている子に「つばが飛んだらコロナになるで」と、注意している子どもがいた。
- ・くしゃみや咳をしている友達に「手でおさえやー」と声をかけていた。
- ・絵の具の霧吹きを子どもに渡そうとしたら、手指消毒をするかのように両手を開いて出していた。
- ・コロナウイルスの絵本を読んだときに、注射や薬が開発されているのを知っている子どもがいた。「コロナウイルスがどんどん仲間を増やしていくってわかった」「手洗いしっかりせなあかん」等発言もあった。
- ・行事が中止・縮小になったことを知ると、「コロナやからかー」と自分たちで気づく姿があった。
- ・毎朝検温してからの登園になったことで、登園後に“しんどい”と訴える子が少なくなった。
- ・子ども達は新しい生活様式に慣れ、進級当初のように不安を口にすることは少なくなった。
- ・4～6月頃は活発に「コロナ」という発言が聞かれたが、徐々に慣れてきている傾向にあり、発言が減っている。

○遊びの中で

- ・室内での遊びが多くなり、階段でつまずいたり、走っていて転んだりする子どもが例年より多く見られた。
⇒密を避けるためにも戸外遊びの時間を多くし、走ったり、踊ったり、体を動かすことを毎日繰り返したことで、10月の運動会の頃には体を動かす楽しさ、体をコントロールする力がついた。
- ・「間をあけてね」「タッチできないよ」など伝えると「コロナやからやろ」と返答がある。
- ・くっついて遊んでいる友だちを見て「コロナなるで」「密、密」「ソーシャルディスタンス」などの言葉が聞かれた。ごっこ遊びの中で「お姉ちゃんがコロナになって出られないの」や「お熱やから寝といてね」「コロナやからなあ〜」という言葉が出てくる。
- ・ままごと遊びでごちそうを食べようとした保育者に「先生待って！手を洗って消毒しないといけないよ。」と話す子がいる。また、「マスク忘れてるよ」とマスクのことで声のかけ合いをしている。手洗い・消毒・マスク着用等が日常のひとつになっている。
- ・物の共有ができないため、遊びが制限されることもあるが、引っ張る木製の玩具を人形代わりにだっこしたり、「ひつつかんでいい遊びは何やろ？」「かくれんぼかな」等、あるものを使って遊んだり、自分たちで遊び方を考える姿が見られた。
- ・マスク着用慣れ、飛沫防止パネルにも違和感がなくなり、手を触れずにアルプス一万尺等をする姿が見られた。
- ・自由に絵を描いているときに「大きなおひさまかいたん？」と聞くと、「ちがうで〜これはコロナウイルス！」と答えた。よく見ると、ニュースに出てくるコロナウイルスの拡大写真とそっくりだった。

○不安な気持ち

- ・「ずっとマスクしてたらしんどくなるし、マスク外したらしんどくなるかもしれんへんし・・・どうしたらいいんやろ」という声から子ども達の気持ちの揺れを知った。思いを出せる環境や関係づくりをしていきたい。
- ・戸外遊びの時に「マスクを外してもいいよ」というと「やった！マスク外していいんやって！」と反応した子ども達にストレスを感じた。規制することは仕方ないが、規制ばかりではなく、心が疲れた時の拠り所を設けるべきだと思った。
- ・「手をつないだらコロナになるで！」と敏感になっていた子もいたが、最近では「マスクしてたらいけるか？」と言っている。

○発達への影響

- ・1学期に殆ど園外保育に行けなかったことで、運動会前に列に並んで歩くことができない姿があった。
⇒2学期以降、散歩や園外保育に出かけ、並んだり歩いたりする機会を意識して取り入れた。
- ・大きな声で話す、歌を歌う機会が少なくなっており、声が出にくい様子が見られた。
⇒間隔をあけたり、マスクをするなど対策をしながら、歌ったり声を出したりする経験を意識して取り入れるようにした。

○家での様子

- ・飛沫防止パネルに興味を持ち、家庭でも同じようなパネルを作って食卓に設置している子どもがいた。
- ・ゲームや携帯を与えていなかった家庭が、家ですることがなくなり、携帯やゲームを与えてしまったということがあった。子どもたちの話から、友達とインターネット上でゲームをしたこと、知らない人とオンラインでゲームをしたことが、わかった。
- ・「ばいきんさんがいなくなったら、お父ちゃんが帰ってこれるんだよ～」と話す子どもの姿から、家庭での様子を知ることができた。
- ・休み中に出かけたかの問いかけに、「コロナだからどこにも行ってない」と答えていた。
- ・夏休みの過ごし方が例年とは違い、友達とあまり遊ばず、親族で過ごしていることが夏休みの生活表や子どもの話からみえてきた。

(2) 保護者の様子

- 「家の中だけで(遊ばせるの)はしんどい…。」「外で遊ばせたいけど、怖くて連れていけない。」という話を聞いた。
- 子どもの病気に敏感になっている保護者や、コロナへの不安から休みがちになる家庭があった。迎えに行ったり、保護者と話をしたりすることで不安を取り除き、登園を誘いかけた。
- 毎日の検温で子どもの平熱を知ることができ、体調の変化に気づき、欠席連絡時に子どもの症状を具体的に話してくれるようになった。
- 子どもが体調を崩した時に診察を受ける家庭が増え、診断名がはっきりするようになった。
- 園庭開放の利用が増えている。昨年度は、来園者ゼロの日もあったが、今年度はおおむね昨年度の倍の人が来園している。
- アンケートより
 - ・「ストレスを感じている」と答えた保護者は90%程度。ストレスの要因は「感染するかもしれない」「子どもに怒りやすくなった」「やることがなく退屈」「幼稚園に行けない」等であった。その反面「親子でよく遊ぶようになった」という声も35%あった。
 - ・コロナ禍の中でも「マスクを作ったら子どもが喜んでくれた」「朝早く誰もいない公園に遊びに行く」「近くの川にカメを見に行く」等、不自由さや制限される中でも子どもと保護者が一緒に工夫しても前向きに生活している様子を知ることができた。
- コロナ感染拡大の観点から、各クラス1日2名の枠で「1日先生」を実施(感想)
 - ・マスクを嫌がることなく「こうやって息するねん」とマスクを浮かせて呼吸して見せてくれたり、このイレギュラーな事態にも馴染むことができてすごいなと思いました。
 - ・子ども達は、もうすっかり慣れた様子で“たくましさ”を感じました。大変だなあと感じたことは、恥ずかしそうに小さな声で話しかけてくれた子が、マスクだと声が聞こえずらく、口の動きが見えないというのは結構不便で困ることなんだなと感じた。
 - ・子どもの話や手紙等で情報はいただいていたものの、“百聞は一見にしかず”とても安心しました。園生活を拝見し、足マークのところの間隔をあけてならんでいる様子など、日々の経験よりすべきことを理解し、定着しているのを感じました。最近の子どもの言

動を見ていると幼稚園という社会で学んだことが世の中の社会ルールにきちんとつながっているように思います。今はコロナで難しいですが、これまでのように保育に参加できる機会があるといいなと思います。

(3) 保育者の様子

- 『新型コロナウイルス感染期間用 病気欠席受付表』を作成し、それに基づき保護者から子どもの症状を聞き取るようにしたので詳しい状況を知ることができた。
- 密にならないよう保育環境を見直した。動線が悪いと感じたら物の配置を変更するなどの工夫を行った。
- 子どもが全員動く時は、動線や待ち方(足型を使って距離の保ち方を知る)を考え、職員同士で事前に役割分担する。
- 個人持ちのおもちゃを準備する。
- 歌は合唱中心から、からだを使ったリズム遊びを中心に取り組んでいる。
- 間隔をあけて座っているため、大型絵本や紙芝居、ペープサートを多く取り入れている。
- 今まで当たり前にしてきた取組や行事を見直すことで、改善できたことも多かった。例えば、運動会を分散して行ったことで、保護者から「ゆったりと見ることができた」「分散にして人数制限がなかったことで、家族で子どもの成長を見ることができた」という意見が多かった。また年度当初、園に慣れるために毎日食べていたおやつ時間をなくしたことで遊ぶ時間の保障ができ、子どもが満足し園に慣れることにつながった。
- 帰りの用意や食事の時間、園庭での遊ぶ時間等、密になる場面を避け、分散させる。

5. 様々な状況下にある子どもの状況認識について…資料3参照

泉南市では子ども総合支援センター、地域子育て支援拠点「ひだまり」、家庭児童相談室など、様々な状況下にある子どもの居場所・相談機関を設置しているが、コロナ禍によりどの施設もこれまで行ってきた行事や対面での支援が難しい状況となった。その中で、これまで関係のあった子どもや保護者に手紙や通信を配布したり、近くの公園に出向いての交流や相談などの活動を実施したりした。

また、図書館では、10代の子どもたちの居場所・相談コーナーとなる「お悩み解決! Teen's コーナー」を図書館1階ロビーに開設した。

<資料 1> 「安心できる学校・学級づくり確認シート」の集計結果から

子どもたちが学校再開時に、不安とを感じる点、気になる点（小中学生）

誰もウイルスにかかってほしくない

- ウイルスが怖い
- コロナが怖い
- 死ぬことへの不安
- コロナにうつりたくない
- 自分も友達もかかってほしくない
- もし、友達がかかったら
- 親が感染したら・先生が感染したら
- 祖母が心配
- 10代の人でもかかっているので心配
- 家族が仕事に行ってコロナにうつらないか

どんなふうに、思われるのか

- 傷つける言葉やいじめ等がでないか
- 体調がわるくなったらコロナって思われそうでこわい(中)
- 学校を休むと、コロナで休んでそうと思われるのが嫌(中)

感染防止とはいえ・・・

- マスクをつけたまま遊ぶと暑い
- マスクを忘れないか
- マスクが欲しい
- ウォーターサーバーが使えなくて困る
- 暑くてもマスクを外せない
- ソーシャルディスタンスの取り方を難しく感じる(中)
- 人との距離、人との接触(中)
- 暑くてもマスクを外せない(中)

2波への不安

- また、コロナが流行し、学校が休みになり、友だちに会えなくなるのか
- 第2波がきたら どうしよう
- コロナが広がるかどうか心配(中)
- 自分が感染してみんなに迷惑をかけるかもしれない(中)

「安心できる学校・学級づくり確認シート」の集計結果

令和2年7月

うつらないか、気になること

- このまま学校に行っていたら、誰かがかかるかも
- 密にならないか
- みんなが集まってくるので、コロナにならないか
- 水道の蛇口が汚れているのではないか
- 必要ではないところや物はさわらない
- 消毒はされているのか
- 休み時間に運動場で遊んでいる時にぶつかって感染しないか
- 休み時間にうんていや鉄棒で遊んでいて感染しないか
- 休み時間にドッチボールの取り合いになった時に感染しないか
- 休み時間に誰かに自分の机を触れられないか
- 休み時間にかたまって遊ぶことができるのか
- 休み時間に外に出るのが心配
- 鬼ごっことか、密集してしまうかも
- 給食を食べたいがマスクを外すことが不安
- 話しても大丈夫か
- 配布物も心配
- 病院にいったらうつるのではないか
- 消毒できているか心配(中)
- コロナウイルスの感染者数が完全に減っているとは言えない状態で、登校を再開させるのはいいかのものか。とても不安で登校したくない(中)
- コロナウイルスに感染しないか不安(中)

クラブ活動について

- 引退試合クラブを最後にきちんとやって引退できるのか不安(せっかく積み重ねてきた技術が落ちていってしまうと思う)(中)
- クラブ活動がどうなるか。(中)
- クラブがどうなるか不安。(中)
- 夏休みなしと言われていますが、部活動はどうなりますか。(中)

生活習慣や、健康状態等で不安なこと

- 早起きができるかどうか
- 朝おきるのがしんどい
- 生活リズムが崩れているので、遅刻せずに登校できるか不安
- 寝る時間が遅くならないようにしたい
- 生活がもどれるか
- 体力が落ちている
- 集中力がついていけるのか
- お腹がいたくならないか
- しんどくなったり、熱があつたりすると、すぐ早退するのか。どこまでなのか
- 外で遊ぶことができるのか
宿題等、持ち物がそろえられているか不安
- 体力面や集中力など、6時間の学習についていけるのか。
- 「早起きできるかどうか。」などの生活面での不安。(中)
- 暇でしかたがない。早く学校へ行きたい(中)
- 体力がついていけるか(中)

行事について

- 運動会や音楽会がやりたい！
- スポーツテストをしたかった。
- 修学旅行は中止？延期？
- マラソン大会はどうなるの？
- 遠足があるのか
- 運動会、臨海学習に行けるのか。
- 行事はあるのか
- 夏休みは短くなってしまわないか
- 長期休暇はどうなるのか。(中)
- 土曜日や日曜日でも学校に来ることになるのか。行事をしてくれるのか。
(「私たちの思い出は、勉強だけになってしまうのですか？」)(中)

家のこと

- 家の人の仕事が休みになって給料のことを話していた
- 小遣いがお給料が少ないからなくなってきた

友達関係で不安な事

- 学校生活になじめるかどうか
- 長い間、友だちにあっていなかったので、話すのが緊張する
- 仲のよい友だちが同じクラスかが不安
- 友だちができるか心配
- 友達と過ごすことで得られる満足を十分に感じる
ことが出来ないかも知れない
- 学校で、あまり友達と話ができなかったと感じる
子どもがでてくるかも知れない
- 友達と普段どおりに遊べない
- グループが分かれ、仲の良い友だちと会えなくなった

授業で不安なこと

- 勉強が早く進んで、ついていけるか。
- 宿題がおおくならないか。
- 休校が長かったので、勉強についていけるか
心配。
- 授業日数は足りるのか。
- 学力が低下していないかが不安
- 苦手教科についていけるか
- たしざん、ひきざんの勉強ができるか。
- テストで良い点とれるか。
- 勉強できているか。
- 休み中に、学習している子どもとそうでない子の
差が気になる
- 授業がいつも以上につかれる。
- 勉強についていけない。
- 体育の授業がどこまでできるのか
- 授業・入試(受験にまにあうのか。学力が下がって
いるため 授業についていけるか。授業スピード
があがるのがこわい。50分集中がもたないかも。
入試がこわい)(中)
- 授業苦しくなったら抜けてもいいんですか。(中)
- 勉強のペースが上がったら、ついていけるか不
安。受験までに授業が終わるのか不安。(中)
- 宿題が難しかったので勉強についていけるか
不安です。(中)

子どもたちが学校再開時に、不安とを感じる点、気になる点（公立幼稚園）

友達に会いたい

- チームの違う友達に会いたい
- まだあったことのない友達が気になる
- 友達ができるか
- お迎えがすぐにきてくれるか
- また、みんなに会えなくなったらいや
- 友達と遊べるか
- まだあっていない友達はどんな友達かな

家にいたい

- 幼稚園もたのしいけれど家に帰ってゲームをしたいな
- ママといたいから帰りたい

子ども達との話し合いやアンケート結果から
令和2年7月

うつらないか、気になること

- うつったらこわい。
- うつるかもしれない。
- 人がたくさんいると不安
- 先生たちもうつったら嫌だよ
- 感染しないか
- 病気になったりしないか
- マスクをしていないとあぶない

<資料2> 「子どもの権利条例『子ども市民モニター』アンケート」の結果から

総合政策部人権推進課 アンケート結果【子ども市民モニター】

泉南市の公立中学校の生徒会役員 27 名
配布 10 月 30 日・提出 11 月 20 日

コロナ禍の非常事態に対する泉南市の取組について（条例第 13 条第 1 項）

- ① コロナ禍でどんなことを感じたり考えたりしましたか
- ② その気持ちを話せる人・話せる場所がありましたか
- ③ 話したことで気持ちに変化はありましたか
- ④ いいえの人は、どうしてですか

②の質問に「はい」の人

	① コロナ禍感じたり考えたりしたこと	② 話せる人・場所	③ 気持ちの変化
1	マスクをしていない人がたまにいるなあ…と思いました	はい	共感してもらえて良かった
2	生徒の全員がどれだけ勉強に取り組んでいるのか少し心配だった	はい 友人・家族	自分とあまり変わらないとわかって安心感があった
3	(休校中) 運動不足、勉強不足が不安 友達づくり、スタートがうまくいかなかったからこれからついていけるか。コロナにかからないか (休校後) 行事が無くなり、勉強ばかりでメリハリが少ない。周りで咳やくしゃみをされると、コロナかも…とってしまう。マスクをしてるから、目から下の顔や、どんな気持ちかわからない	はい 家族・ラインなどを 使って友達 家	家族→話したら楽になる 友達→共感してくれると「自分と同じ」と思える
4	ストレスがすごくたまっていたけど、サッカーが好きだからサッカーをして楽しんでいた。 勉強もしようと思い、1日、1～2時間していた	はい 仲のよい友人 あまり人がいない 静かな場所	今までの考え方とは別で、そういう考え方もあると思い、実行に移した。
5	勉強や学校のことでの不安 自分への不安	はい 友達・家族・知人 学校や家、友達や 家族がいる場所	気持ちが楽になった
6	外に自由に遊びに行けない辛い気持ち 試合や行事、学校がなくなり残念な気持ちや悔しい気持ち これから先、ずっとマスク着用が必要なのか等の不安 受験への影響などの心配	はい 親しい友達・家族 家	共感してもらえることで、心へ負担が少し軽くなりました

	①コロナ禍感じたり考えたりしたこと	②話せる人・場所	③気持ちの変化
7	学校を卒業できるか 修学旅行は行けるか	はい 先生 学校	特になかった
8	学校がなくなって、今までは学校楽しくないとか、行きたくないと思っていたけど、はやく学校に行きたいと思った	はい 家族 家	しっかり勉強をがんばろうと思った
9	感染者が減ったのにまた増えてこわい。 感染予防をちゃんとする	はい 友達・家族 学校・家など	ない
10	いままで、あたり前だったことが、あたり前じゃなくなったこと	はい 家族 家	コロナ禍であたり前になったことに慣れていこうという気持ち
11	今まで普通にやっていた事が本当に何もできなくなってしまって、これからどうなるんだろうと思ったり、学校にも行けなかったのが友達とも会えなくなり、外出もひかえなければいけなかったのが、家にいる時間がほとんどになり、いろんな事があたり前だったのに気づかされる時間にもなったが、不安な気持ちでこれからはずっと心配でした	はい 家族や友人 自宅やスマホ	不安だった気持ちが話すことにより少し、気がラクになった
12	学校が休みの期間は、早く友達と会いたい、勉強いけるかな！ひまやなと感じていた。でもこんなに毎日(一日中)家族と過ごすことがあまりなかったから家族との団らんを楽しんだり、家のことをたくさん手伝えるいい機会であったと思う。学校がはじまって友達と会えてうれしかったり、コロナの感染者もへってきて安心していただけ、最近が増えていて、すごくたまにマスクをしていない人もみかけるので、マスクをしっかりすることと、密をさけてほしいと思う	はい 友達 友達といるところ	共感してくれる子がいる
13	とくにない	はい 友達や家族 学校や家	ない
14	普段なにげに外に遊びにいたりしたけれど、コロナが流行ってしまっからは自由に遊びに行けないし、遊んでいてもマスクをしなればいけないし、遊びにいても店に入っても必ず消毒をしなればいけないところが不便だと思った	はい 友達・家族 家・友達の家・電話 など 学校 いいえ	コロナのおかげで遊びに行けなかったり生活に支障が出たりして、気を付けようと思いました (いいえにも回答あり) 相談してもどうにもならないと思ったから

	①コロナ禍感じたり考えたりしたこと	②話せる人・場所	③気持ちの変化
15	今までの暮らしの便利さを改めて感じました。また当たり前ほど大事なものはないと思いました	はい 家族 家	自分の考えだけでなくその人の考えも合わせて物事に向き合うことができ、とてもすっきりしました
16	長期の休みが出来てうれしい反面、受験生としてのこの年に、どう勉強すれば良いのかがわからずあせる気持ちがありました	はい 友人	みんな同じ気持ちにだったと思い安心しました
17	学校の休みが長い	はい	なし
18	Switch バカ売れた 一部はすごくもうかった	はい 〇〇(友達の名前2名) 学校 いいえ	ない (いいえにも回答あり) 誰にも相談したいと思わなかったから
19	家にずっといるとストレスが溜まったりいろいろ大変でした	はい 家族・友人 家・友達とのメール	マスクを配る

②の質問にいいえの人

	①コロナ禍感じたり考えたりしたこと	②話せる人・場所	③どうして「いいえ」?
20	私たち中学生は少し始業式が遅れたぐらいだったけど、大学生の方々は2学期が始まっている所の方が多かったから、自分が学校に行けていることを大切にしないと、と思った。	いいえ	塾の先生に相談されたから
21	何もすることがなく暇だった	いいえ	相談してもどうにもならないと思った
22	授業のスピードがはやい	いいえ	誰にも相談したいと思わなかった
23	学校大丈夫かな?とか不安	いいえ	時間がなかったため
24	いままでこんなに日常が大切なんだと思った	いいえ	誰にも相談したいと思わなかった。
25	今後社会の情勢がどのようになるのか	いいえ	相談する人・場所がなかったから・相談してもどうにもならないと思ったから
26	人は簡単に死んでいくということ	いいえ	相談してもどうにもならないと思ったから
27	その対策があったので子どもが無事だったな	いいえ	相談してもどうにもならないと思ったから

【学校や市に対してやってほしいな・あったらいいなと思う取組】

- 学校があってほしかった
- 体育館の開放
- オンラインでの質問会
- 休校中は特に勉強できる場所や教えてくれる所がほしいと思った。
⇒一人で勉強は続かない。
- 体育館の開放
- サッカーのフットサル場がお金を払って借りることができる
- サッカーのゴールや広場などがあるところがほしい
- おとなにもマスクをしてほしい
(イオンとか行った時に、おとなマスクをしていない人がちらほらいたから)
- もし、私たちに権利があるのならば、おとなのみが得をするようなことはなく、また、「コロナで無理だ・・・」と簡単にあきらめずに工夫や別の方法を最後まで考えて欲しい。子どもに夢を持たせてください。
- 空調設備が悪いので、そこを改善してほしい。
- この前、マスクが学校に配布されましたが、もし可能ならばアルコールを各学校に、お店に無料配布をしていただければいいなと思います。
- 密になるようなイベント等はあまり、やらないでほしい。マスクをしていない人がいれば、何か罰をあたえたり、マスクをしていない人にマイナスのことをして、皆がみんなマスクをつけるようにしてほしい
- 休みを長くしてほしい
- 今後、何かの影響で学習の時間がとれなくなった場合の対応をおおまかでもいいので決めてほしいです

<資料3>様々な状況下にある子どもの状況認識について

泉南市立図書館「お悩み解決！Teen's(ティーンズ)コーナー」の設置

「子どもにやさしいまち・すべてのひとにやさしいまち～せんなん戦略」で掲げる地域共生社会の実現を目指すため、子どもやおとなが夢や希望を語り、心身ともに豊かに育つ地域共生のまちづくり推進事業のひとつとして、泉南市立図書館に10代の子どもたちの居場所・相談コーナーの整備を行います。

【事業名】 図書館居場所相談コーナー整備事業

【事業目的】 10代の子どもたちが必要な情報や機関・地域社会とつながることで、学びや育ちの支援につなげる。

【事業概要】 10代の子どもたちの悩みや疑問を解決し、生き方を考えるうえで役立つ資料を集めた新コーナーを、誰でも気軽に立ち寄れるスポットである図書館に設置する。ひとりでも、仲間と一緒にでも、利用できる居場所づくりを行う。
また、子どもたちを見守り、時には元気になれるように話を聴き、必要な情報を関係機関と連携する大人の「きらめきサポーター」を配置する。

【名称】 「お悩み解決！Teen'sコーナー
～ココロの温泉きらめき堂～」

【設置場所】 図書館1階ロビー(常設)



ソファもあり、ホッとできる空間です！

【進捗状況と今後のスケジュール】

10月17日(土) プレオープン(展示のみ)

10月31日(土) 資料の貸出開始、新聞等設置・閲覧開始

11月～12月 きらめきサポーター養成講座 (20名の応募あり)

「子どもの権利についての理解・子どもの話を聞く方法を学ぶ」

① 11月21日(土) 講師 山下裕子さん

(公益社団法人 子ども情報研究センター)

② 12月9日(水)、12月12日(土)、講師 古藤典子(人権推進課)

11月下旬以降 中高生や関係機関にPRチラシ配布

12月中旬以降 きらめきサポーター配置 土曜日(日程未定)

今後は、関係機関を通じて広報活動を行い、10代の子どもたちやサポーターからも、購入資料の要望、運営のあり方などの意見を聞きながら、コーナーづくりを進めていくこととする。

【設置資料】 約300冊 ブックリスト(抜粋) 《裏面を参照》



お悩み解決 / Teen'sコーナー ～ココロの温暖きらめき堂～ フックリスト(抜粋)

◆新聞

朝日中高生新聞	毎週日曜日発行	朝日新聞社
読売中高生新聞	毎週金曜日発行	読売新聞社
不登校新聞	月2回発行	不登校新聞社
MORGEN(モルゲン)	月刊	遊行社

幅広い本を
集めています！
だれでも利用できます。
保護者の方もどうぞ！



◆「しんどい」と感じたら…、いろいろな悩みを解決するには…

区分	分類	書名	著者名	出版者名
児童書	141	いろんなきもち 自分の心まかせついでに幸せになる方法	エリノア・グリーンウッド	保育社
児童書	367	生きる冒険地図	ブルスアルハ	学苑社
児童書	375	青春サプリ。自分を変えてくれる場所	安藤 隆人	ポプラ社
児童書	491	モヤモヤそうだんクリニック	池谷 裕二	NHK出版
児童書	498	イラスト版13歳からのメンタルケア 心と体がらくになる46のセルフマネジメント	安川 祐亮	合同出版
一般書	159.7	君の悩みに答えよう 青年心理学会と考える10代・20代のための生きるヒント	日本青年心理学会	福村出版
一般書	371.4	8月31日の夜に。生きるのがつらい10代のあなたへ	NHK「ハートネットTV」	毎日新聞出版
一般書	371.4	生きづらさを抱えるきみへ 逃げ道はいくらでもある	withnews編集部	ベストセラーズ

◆「性」の悩み

一般書	366.2	自分らしく働くLGBTの就活・転職の不安が解消する本	星 賢人	翔泳社
一般書	367.9	大人になる前に知る性のこと	加納 尚美	ペリカン社
一般書	367.9	ほくほく性別モラトリアム	からたち はじめ	幻冬舎

◆多様な学び方、進路・仕事など

児童書	366	10代のための資格・検定 可能性を広げる道しるべ	大東書店編集部	大東書店
児童書	366	おしごと年鑑 みつけよう、なりたい自分 2020	谷 和樹	朝日新聞社
一般書	289	文字の読めないパイロット 進学障害(ディスレクシア)の僕がドローンと出会って飛び立つまで	高梨 智樹	イースト・プレス
一般書	687.3	男子客室乗務員になる本	月刊「エアステージ」編集部	イカロス出版
一般書	376.8	高足があるじゃん！ 高卒認定試験完全ガイド 2020～2021年版		学びリンク
一般書	376.8	小中高・不登校生の居場所探し 全国フリースクールガイド 2020～2021年版		学びリンク
一般書	916	きつおんがール うまく話せないけど、仕事してます。	小乃 おの	合同出版

「なるにはBOOKS」、「なるにはBOOKS大学学部調べ」ペリカン社のシリーズもあります。

◆「好き」を広げる。社会を知る。

児童書	002	素直につながるまなびば 子ども大学 1 世界を知る	こどもくらぶ	フレーベル館
児童書	159	マンガでわかる！ 10代からのビジネスブック 全3巻	川本 裕子	河出書房新社
児童書	375	僕たちの部活動改革 部活自治・10のステップ	榎谷 祐	かがわ出版
児童書	809	こどもプレゼン教室 論理的思考力が身につく！	前田 健利	宝島社
一般書	481.7	岸壁探査！ 港湾で出会える幼魚たち (ときめき×サイエンス)	鈴木 香里武	ジャムハウス
一般書	911.5	中高生とよみたい日本語を楽しむ100の詩	水内 喜久雄	たんぽぽ出版

◆ほっこりしよう！

児童書	645	話せばわかる！？ネコごころ	CAMP NYAN TOKYO	ポプラ社
児童書	831	カタカナ英語キャラクター図鑑 オニオンはアニヤンと発音！	いとう みつる	宝島社

◆小説や絵本、コミックなど、～気になるあの本、人気のこの本～

児童書	CF	サザキ サード・プレス	ささき あり	フレーベル館
児童書	B CF	マツク 劇場版鬼滅の刃 無限列車編 ノベライズ (集英社みらい文庫)	吾峠 呼世晴	集英社
児童書	CF	マツキ 保健室経由。かねやま本館。	松素 めぐり	講談社
児童書	E	A アンタルシアのつばき屋さん。(英文併記、CD付)	上之山 幸代 作・絵	アトリエ・幸
児童書	E	ユ このままじゃ学校にいけません	ベン・ブラッシャーズ	星の工房
一般書	F	ヒノ 稲の旋律	瀬川 あかね	新日本出版社
一般書	M	726.1 かがみの風城 1、2 (コミック)	辻村 深月	集英社

◆保護者や支援者向きの本

一般書	369.2	こんなサポートがあれば！ LD、ADHD、アスペルガー症候群、高機能自閉症の人たち自身の声 1～3	梅永 雄二	エンパワメント研究所
一般書	371.4	いじめのことばから子どもの心を守るレッスン	堀田 秀吾	河出書房新社
一般書	371.4	不登校困った時の対応術40 WHYとHOWでよくわかる！	千葉 孝司	明治図書出版
一般書	374.1	かわりつくりワークショップ 発達と不安が一つと消える入学オリエンテーション	大谷 哲弘	図書文化社
一般書	493.9	起立性調節障害の子どもの日常生活サポートブック	田中 英高	中央法規出版

◆DVD

DVD	W778	アン アンダンテ 頼の旋律 デラックス版 (聴覚障害者用字幕あり)	金田 敏	ゴーゴービジュアル企画
DVD	W778	ハシ 走れ！T校バスケット部 (聴覚障害者用字幕あり)	吉澤 健	東映株式会社

このほか、各種相談窓口の紹介パンフレット、10代向けチラシなども置いてあります。
このブックリストは、抜粋です。約300冊設置しています。

※市立図書館は、11月23日(月)～11月30日(日)の間、コンピュータの入替で閉館休館しています。子どもたちに案内される際は、休館日にご注意ください。